

平成 2 1 年度

会津美里町教育委員会
点検・評価報告書

会津美里町教育委員会

はじめに

会津美里町教育委員会では、第1次会津美里町振興計画において目標とする町の姿「人が輝き 夢が広がる 環境共生のまち」を目指し、「生涯学習社会の形成」、「学校教育の充実」、「生涯スポーツの振興」、「青少年の健全育成」、「地域文化の継承と創造」を掲げ、それぞれ具体的な事業に取り組んできました。

これらの事業を推進するに当たり、各事業が効率的に実施されているか、有効的に行われているかなど随時点検評価していくことが必要であります。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について点検評価を行い、その報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

こうしたことから、本町教育委員会では、課題や取り組みの方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たし、信頼される教育委員会を推進するため、平成21年度に実施した事業について、有識者の意見を取り入れながら点検評価を行い、その結果を報告書にまとめました。

今後は、本年度策定しました第2次会津美里町総合計画に掲げました「こころ豊かな人づくり」の実現に向けて、鋭意推進してまいりたいと存じますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年11月

会津美里町教育委員会

1 教育委員会評価の概要

1 評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、会津美里町教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する。

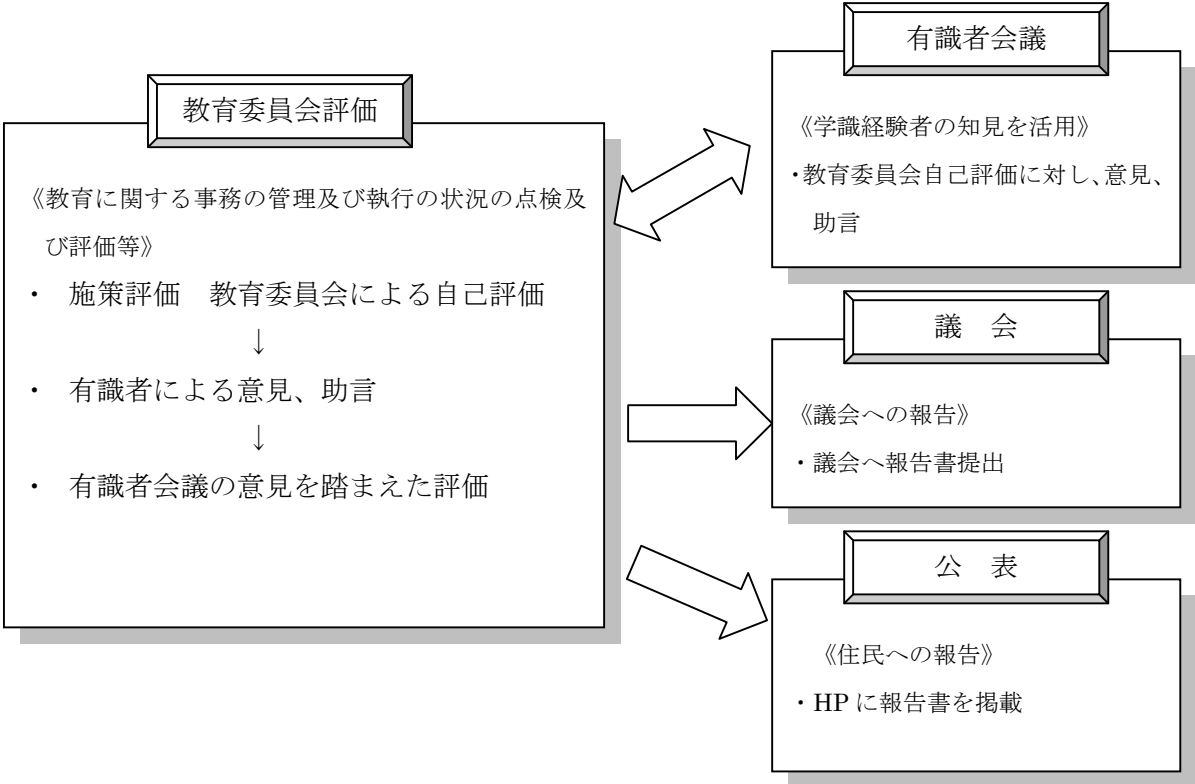
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月施行）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前条の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 評価のしくみ

教育委員会により自己評価を実施し、有識者の意見を踏まえ総合評価を行う。



3 評価項目

- ①平成21年度会津美里町教育委員会活動状況の点検
- ②平成21年度会津美里町教育委員会重点施策（具体的な施策）の進捗状況

4 評価スケジュール

9月上旬	事務局によるまとめ
9月22日	教育委員会定例会での評価（委員会活動状況）
10月上旬	事務局による自己評価（重点施策）
10月13日	第1回評価委員会（概要説明、評価方法の説明）
10月21日	教育委員会定例会での評価（重点施策）
10月26日	第2回評価委員会（委員会活動状況評価・重点施策評価）
11月10日	第3回評価委員会（評価結果の確認）
11月18日	教育委員会（定例会）で決定
12月	議会へ報告
12月	ホームページ公表

5 有識者会議委員の構成

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。（法第27条第2項）

委員3名程度（学識経験者、保護者代表等）

氏名	団体・役職名
太田光一	会津大学文化研究センター センター長（教授）
佐藤道夫	大沼郡連合PTA 会長
鈴木則子	町生涯学習推進委員会 会長

2 教育委員会活動状況の評価

1 教育委員会活動状況の評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月施行）

（基本理念）

第 1 条の 2 地方公共団体における教育行政は、教育基本法の趣旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図れるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公平かつ適正に行わなければならない。

（服務等）

第 11 条

－省略－

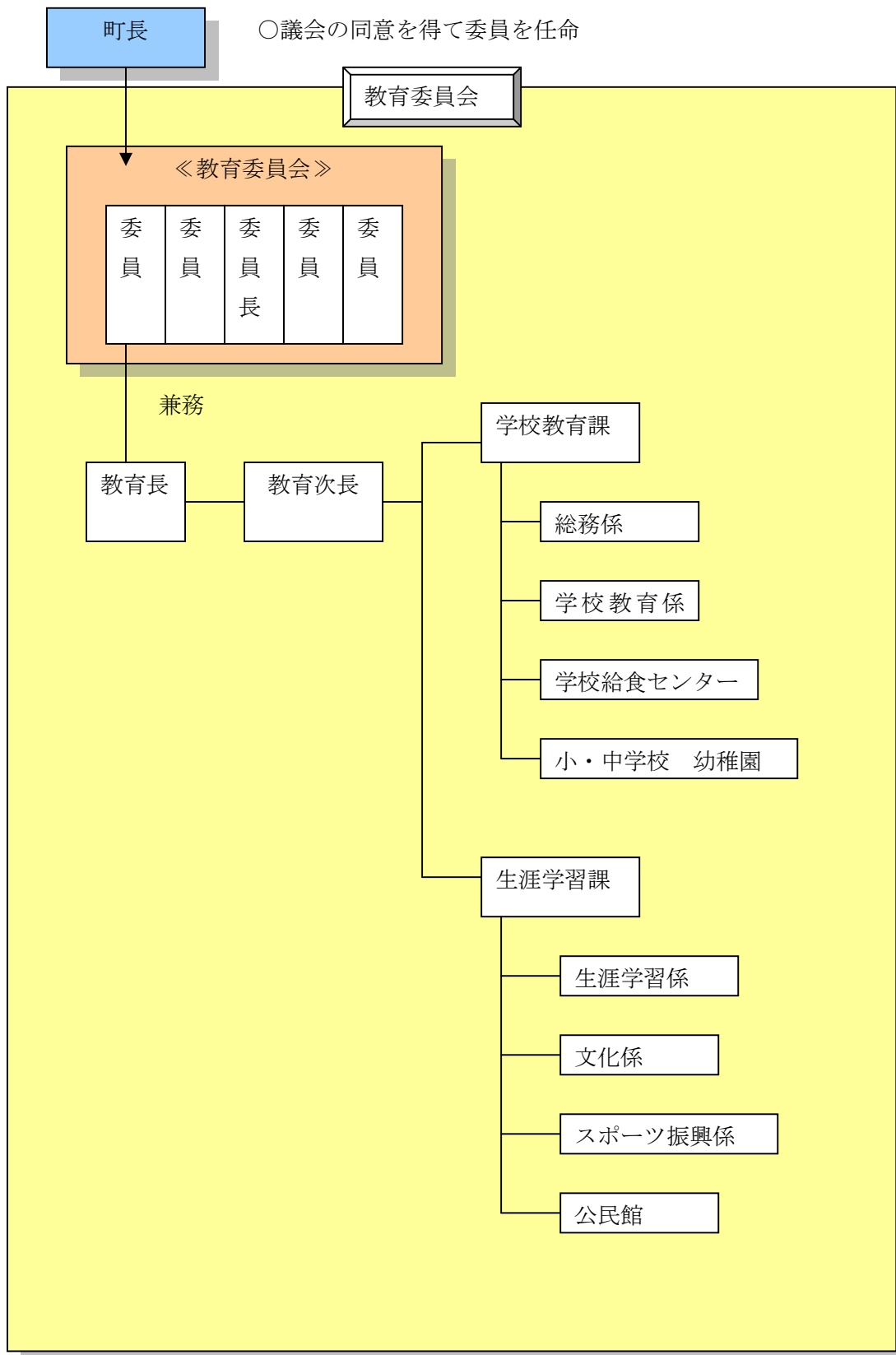
6 委員は、その服務の遂行に当たっては、自らが当該地方公共団体の教育行政の運営について負う重要な責任を自覚するとともに、第 1 条の 2 に規定する基本理念に則して当該地方公共団体の教育行政の運営が行われるよう意を用いなければならない。

教育委員会委員の意見が教育行政に十分反映されているか、住民や教育現場の意見が反映されているか、幅広い視点から事務局の管理監督ができているかなどの観点から評価を行った。

2 教育委員の構成（平成 22 年 3 月末現在）

職名	委員長	委員長職務代理者	委員	委員	教育長
氏名	林 靖子	猪俣一徳	弓田修司	鶴賀イチ	佐治和則
任期	H18. 12. 1 ～ H22. 11. 30	H20. 12. 16 ～ H24. 12. 15	H21. 10. 1 ～ H23. 11. 22	H21. 12. 1 ～ H25. 11. 30	H21. 12. 1 ～ H25. 11. 30
備考			保護者		

3 教育委員会の組織

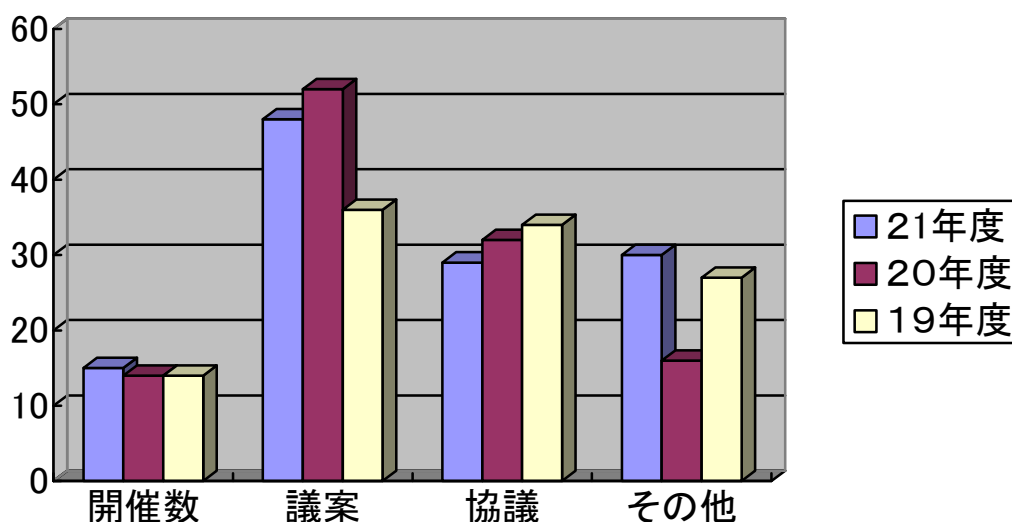


4 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議開催状況

年 度		21年度	20年度	19年度	備考
開催回数 (回)	定例会	12	12	12	
	臨時会	3	2	2	
計		15	14	14	
付議案件 (件)	議案等	48	52	36	
	協議案件	29	32	34	
	その他	30	16	27	
計		107	100	97	

委員会開催状況



【平成21年度 教育委員会審議案件等一覧】

○教育委員会議 審議案件
(議案)

会議名	議案番号	件 名	審議年月日
4月臨時会	第28号	会津美里町教育委員会事務局職員の任免について	H21.4.1
	第29号	会津美里町教育委員会教育長職務代理者の指定について	
	第30号	会津美里町学校給食費の決定について	
5月定例会	第31号	会津美里町立学校薬剤師条例の一部を改正する条例について	H21.5.20

	第 32 号	会津美里町社会教育委員の委嘱について	
	第 33 号	会津美里町学校評議員の委嘱について	
6 月定例会	第 34 号	要保護・準要保護児童生徒の認定について	H21.6.25
	第 35 号	会津美里町社会教育委員の委嘱について	
7 月定例会	第 36 号	平成22年度会津美里町立小・中学校使用教科書の採択について	H21.7.21
	第 37 号	要保護・準要保護児童生徒の認定について	
	第 38 号	会津美里町教育委員会委員の辞職について	
	第 39 号	会津美里町教育委員会委員長職務代理者の指定について	
8 月定例会	第 40 号	会津美里町生涯学習振興事業補助金交付要綱の一部改正について	H21.8.20
	第 41 号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会委員の委嘱及び任命について	
	第 42 号	準要保護児童の認定について	
9 月定例会	第 43 号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会委員の任命及び専門調査官の委嘱について	H21.9.28
	第 44 号	会津美里町教育委員会事務管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱の制定について	
	第 45 号	会津美里町教育委員会事務管理及び執行状況の点検及び評価に関する有識者会議における有識者の委嘱について	
	第 46 号	本郷統合小学校建設検討委員会設置要綱の制定について	
	第 47 号	本郷統合小学校建設検討委員会委員の委嘱について	
10 月定例会	第 48 号	会津美里町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	H21.10.19
11 月定例会	第 49 号	会津美里町立小・中学校条例の一部を改正する条例について	H21.11.20
	第 50 号	会津美里町奨学資金貸与基金条例の一部を改正する条例について	
	第 51 号	会津美里町文化財保存事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	
	第 52 号	準要保護児童生徒の認定について	
	第 53 号	会津美里町教育委員会点検・評価報告書について	

	第 54 号	会津美里町スポーツ振興審議会委員の委嘱について	
	第 55 号	会津美里町教育委員会委員長職務代理者の指定について	
12 月臨時会	第 56 号	会津美里町教育委員会教育長の任命について	H21.12.1
	第 57 号	会津美里町教育委員会委員の議席を定めることについて	
12 月定例会	第 58 号	準要保護児童の認定について	H21.12.18
1 月定例会	第 1 号	平成22年度会津美里町教育委員会重点施策について	H22.1.21
	第 2 号	準要保護児童生徒の認定について	
2 月定例会	第 3 号	会津美里町立幼稚園授業料徴収条例施行規則の一部を改正する規則について	H22.2.18
	第 4 号	会津美里町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則について	
	第 5 号	会津美里町立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	
	第 6 号	本郷地域統合小学校整備事業用地取得について	
	第 7 号	準要保護児童生徒の認定について	
3 月臨時会	第 8 号	会津美里町立小・中学校長等の異動内申について	H22.3.8
3 月定例会	第 9 号	会津美里町職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する規程について	H22.3.18
	第 10 号	会津美里町教育相談員の任命について	
	第 11 号	会津美里町学校教育専門指導員の任命について	
	第 12 号	会津美里町子どもと親の教室相談員の任命について	
	第 13 号	会津美里町心の教室相談員の任命について	
	第 14 号	会津美里町地区公民館長の任命について	
	第 15 号	会津美里町地区公民館部長、副部長の任命について	
	第 16 号	会津美里町社会教育指導員の任命について	
第 17 号	会津美里町生涯学習指導員の任命について		

計 48 件

(諮問)

会議名	議案番号	件 名	審議年月日
10 月定例会	第 1 号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会への諮問について	H21.10.19
11 月定例会	第 2 号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会への諮問に	H21.11.20

		について	
12月臨時会	第3号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会への諮問について	H21.12.1

計 3件

(報告)

会議名	議案番号	件名	審議年月日
11月定例会	第1号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会の答申について	H21.11.20
12月定例会	第2号	会津美里町心身障がい児就学指導審議会の答申について	H21.12.18

計 2件

(選挙)

会議名	議案番号	件名	審議年月日
11月定例会	第1号	会津美里町教育委員会委員長の選挙について	H21.11.20

計 1件

【議案等 計 54件】

○教育委員会議 協議案件

会議名	件名	審議年月日
4月定例会	後援・共催依頼承認について (4件)	H21.4.20
	小学校等運動会の出席について	
5月定例会	会津美里町本郷地域統合小学校整備計画について	H21.5.20
	後援・共催依頼承認について (11件)	
6月定例会	後援・共催依頼承認について (10件)	H21.6.25
	教育関係6月補正予算について	
7月定例会	後援・共催依頼承認について (5件)	H21.7.21
	教育振興計画の策定について	
	教育委員会評価の実施について	
8月定例会	後援・共催依頼承認について (3件)	H21.8.20
9月定例会	後援・共催依頼承認について (4件)	H21.9.28
	「福島県公立学校退職校長会要望書」について	
10月定例会	後援・共催依頼承認について (2件)	H21.10.19
	教育委員会評価について	
11月定例会	後援・共催依頼承認について (3件)	H21.11.20
12月定例会	平成22年度会津美里町教育委員会重点施策について	H21.12.18
	後援・共催依頼承認について (1件)	

1月定例会	平成22年度全国学力・学習状況調査について	H22.1.21
	後援・共催依頼承認について（1件）	
2月定例会	会津美里町教育委員会顕彰表彰被表彰者の選考について	H22.2.18
	3月補正予算について	
	学校評価の実施について	
	後援・共催依頼承認について（2件）	
	幼稚園・小学校・中学校卒業（園）式について	
	教育委員会告辞について	
3月臨時会	幼稚園・小学校・中学校入学（園）式の出席について	H22.3.8
3月定例会	平成22年度会津美里町奨学生の選考について	H22.3.18
	後援・共催依頼承認について（3件）	

計 29件

【協議案件 計 29件】

○教育委員会議 その他（報告等）案件

会議名	件名	審議年月日
4月定例会	会津美里町総合型地域スポーツクラブ育成支援事業概要について	H21.4.20
	事務分掌について	
5月定例会	会津美里町新型インフルエンザ対策本部の設置について	H21.5.20
8月定例会	主要施策の成果（決算）について	H21.8.20
	補正予算について	
9月定例会	児童・生徒に関すること	H21.9.28
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
10月定例会	一般会計補正予算について	H21.10.19
	児童・生徒に関すること	
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
11月定例会	一般会計補正予算について	H21.11.20
	児童・生徒に関すること	
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
12月定例会	一般会計当初予算要望について	H21.12.18
	児童・生徒に関すること	

	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
1月定例会	児童・生徒に関すること	H22.1.21
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
2月定例会	児童・生徒に関すること	H22.2.18
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	
3月定例会	当初予算（教育関係）について	H22.3.18
	児童・生徒に関すること	
	教職員に関すること	
	教育関係施設に関すること	

計 30 件

【その他 計 30 件】

(2) 視察・研修などの活動状況

ア 学校・教育機関の視察

○文教施設訪問

・平成 21 年 12 月 18 日（金）

新鶴公民館 新鶴学校給食センター 吹上運動公園
 会津美里町公民館（高田公民館） 赤沢地区公民館 永井野地区公民館
 尾岐地区公民館 東尾岐地区公民館 旭地区公民館 藤川地区公民館
 本郷公民館

・平成 22 年 1 月 21 日（金）

本郷第二小学校 本郷第一小学校 本郷統合小学校建設予定地
 宮川小学校 高田小学校 赤沢小学校 新鶴幼稚園 民俗資料館
 新鶴小学校（新鶴中学校） 高田学校給食センター

イ 教育委員会の研修・活動

①研修

○平成 21 年 7 月 10 日（金） 青森市文化会館

東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会

・講演「時代の要請を踏まえての小・中学校の新学習指導要領改定について」

講師 高橋道和

（文部科学省初等中等教育局教育課程課長 ）

・講演「太宰治をめぐる友情について」

講師 津島園子

- 平成 21 年 10 月 28 日（水） 新鶴公民館
市町村教育委員会連絡協議会両沼支会研修会
 - ・講演「学校経営のブランド化」
講師 本田勝之助
(株式会社 ヒルサイドコネクション 代表取締役)
 - ・講演「会津美里町における天地人」
講師 梶原圭介
(町教育委員会職員)

- 平成 21 年 11 月 13 日（金） 県自治会館
市町村教育委員会新任教育委員研修会

②活動

- 平成 21 年 11 月 18 日（水） 本郷庁舎
本郷地域学校統合に関する説明会
- 平成 22 年 3 月 28 日（日） 本郷公民館
本郷地域統合小学校建設計画懇談会

ウ 教育委員と町長等との懇談

- 町長との教育懇談会
 - ・平成 22 年 1 月 8 日（金） 町長室
教育委員と町長との懇談会

エ 教育懇談会

- ・平成 21 年 11 月 20 日（金） 高田庁舎
PTA 会長・校長会との懇談会
- ・平成 22 年 2 月 22 日（月） 本郷庁舎
民生・児童委員との懇談会

オ 委員協議会（議案の事前審議、その他研究協議）

- ・議会一般質問内容についての協議
- ・統合小に関する協議（本郷一小・二小）

(3) その他

広報公聴 町広報紙による広報

【評価】

- ・委員、事務局一丸となって「学びと楽しさの文化のまちづくり」のため安全・安心、未来を拓く心豊かな教育行政の推進に取り組み、成果が上がっている。
- ・定例会・臨時会での率直な議論の結果が教育行政に活かされ、組織的に有効に機能している。
- ・開かれた教育委員会を目指し、住民や教育現場の意見を集める努力をしている。

【今後の方向性】

- ・情報の共有化を図り、先を見通した対策・指導等きめ細やかな活動をしていく。
- ・施設訪問、現地確認等しながら教育施設等教育環境の整備に、より一層の努力をしていく。
- ・学校現場や保護者との懇談会の開催を計画的に設定する。
- ・次年度に解決を目指す課題を明らかにしていく。
- ・前年度評価に基づいた課題提示や解決策の方法について、より具体的、計画的に設定していく。

【有識者の意見】

- ・会津美里町振興計画に基づき、目標とする姿の実現に向けて、生涯学習の推進、幼児教育及び学校教育の充実、青少年の健全育成、スポーツの振興、伝統文化・地域文化の継承と創造などを重点施策として位置づけ、効果的な教育行政の一層の推進に積極的に取り組んでおり概ね評価できます。
- ・定例会が定期的で開催され、議案も年々増え、さらに視察や懇談会が実施される等、各自内容を深めている姿が感じられ大変評価できます。
- ・学校統合問題にかかる住民との話し合いは、計画的に実施されており、おおいに評価できます。

3 教育委員会重点施策の評価

平成21年度実施した会津美里町教育委員会重点施策（具体的な施策）における成果と課題を検証し、今後の方向性を示した。

平成21年度会津美里町教育委員会重点施策

会津美里町第一次振興計画の「人が輝き、夢が広がる、環境共生のまち」を創造するために、「学びと楽しさの文化のまち」づくりを推進し、未来を拓く心豊かな・確かな学力を備えた人づくりを基本理念とし、次のように教育行政を推進する。

1. 生涯を通じて、主体的に学ぶことができる魅力ある生涯学習環境の確立
2. 心豊かで、創造性豊かな子供たちを育む学校教育の充実
3. 豊かな教育環境の充実・活用
4. だれもが手軽にスポーツライフを楽しめる環境づくりの推進
5. 家庭・学校・地域社会が一体となった、豊かな心と体をもつ青少年の育成の推進
6. 地域の伝統文化の継承と活力に満ちた文化活動の振興
7. 効率的・積極的な教育行財政の推進

1 生涯を通じて、主体的に学ぶことができる魅力ある生涯学習環境の確立(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	【評価】(主な成果と課題)
<p>(1)生涯学習推進体制の整備・充実</p> <p>・町民の多様な要求に応え得る生涯学習の立場を確立し、合わせて指導者の育成・確保に努める。</p> <p>・関係機関・団体との連携を図りながら自立的な活動の支援に努める。</p>	<p>・社会教育委員会、生涯学習推進委員会を開催し、各公民館事業、各社会教育団体事業に関する審議を行うとともに、町に対する提言や社会教育関係団体への助言等を行った。</p> <p>■社会教育委員会・生涯学習推進委員会合同会議開催4回</p> <p>・生涯学習の総合的効果的な推進を図るため、社会教育委員会・生涯学習推進委員会等の審議内容を生かした学習プログラムにより事業を実施した。</p>	<p>○社会教育委員会・生涯学習推進委員会より多くの意見をいただき、受講生の意見も取り入れた事業の実施ができた。</p> <p>●引き続き、アンケート調査などによる町民のニーズの把握を行い、事業を夜間や休日を実施するなど参加しやすい日程により、年代に応じた事業の企画立案が必要である。</p> <p>○各種団体・関係機関より推薦された委員の意見を尊重して事業が実施されており、各団体・機関との連携が図られた。</p>
<p>(2)生涯学習の普及・啓発の推進</p> <p>・特色ある生涯学習プログラムの充実を図る。</p> <p>・住民参画による活動の拡充に努めると共に、学習成果を地域に生かす場の設定に努める。</p>	<p>・社会教育指導員並びに生涯学習指導員を配置し、特色のある事業の企画、立案及び運営に当たった。</p> <p>■社会教育指導員4名配置(会津美里町公民館2名、本郷公民館1名、新鶴公民館1名)</p> <p>■生涯学習指導員11名配置(高田地域地区公民館7名、本郷公民館3名、新鶴公民館1名)</p> <p>・各種学級においては、運営委員会を設置し、参加者が自ら企画・運営することとし、自主的な事業運営を図った。</p>	<p>○民間の有能な人材を社会教育指導員や生涯学習指導員にすることで、社会教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>●年間を通して、研修会等による能力・資質の向上を図る機会の充実を図る必要がある。</p> <p>○参加者が自ら企画・運営し、自主的な事業運営が図られた。</p>

<p>・家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実に努める。</p> <p>・公民館図書室の蔵書の充実と利用促進を図り、読書機会の拡充に努める。</p>	<p>・就学児健診の機会を活用した子育て講座、思春期子育て講座、明日の親となる中、高校生を対象とした子育て講座、その他の機会を活用した子育て講座を児童館、幼稚園、小学校、中学校、図書室各会場で実施(計画)した。</p> <p>・719,178円で図書を購入し、蔵書の充実を図った。</p> <p>・ボランティアによる読み聞かせ会や読書活動推進事業を実施し、読書機会の拡充に努めた。</p> <p>■図書の購入 会津美里町公民館202冊 本郷公民館207冊 新鶴公民館151冊</p>	<p>○保護者が家庭教育の重要性を確認し、家庭での子育ての育成に必要な知識・技能を学習することができた。</p> <p>●インフルエンザのため、中止を余儀なくされたケースが多く、事業の成果(実施について回数及び参加者数)は前年度を下回った。</p> <p>○読み聞かせ等を通して、子どもの豊かな情操を育むことができた。</p>
<p>(3)学習情報の充実</p> <p>・時代に対応した学習情報提供システムの確立を図る。</p> <p>・学習者が求める情報資料の収集とその提供に努める。</p>	<p>・町民に迅速かつ的確な学習情報を提供するため、町広報紙及び町ホームページによる情報提供を行うとともに、学習活動や学習成果の掲載を行った。</p> <p>■町広報への記事掲載・・・毎月 ■町ホームページへの記事掲載・・・事業実施ごと 随時</p> <p>・町広報紙及び町ホームページや各施設の掲示板等を有効に活用し、情報の提供に努めた。</p>	<p>○町広報や町ホームページにより、学習情報の提供が図られた。</p> <p>○図書資料を充実させ、読み聞かせ等学習の場を提供することができた。</p> <p>●3地域の公民館図書室や学校をネットワークでつなぎ、どこの地域でも貸借できるようなシステムの構築が望まれている。</p>

<p>(4) ボランティア活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動・ボランティア活動支援センターの活性化を図る。 ・ボランティア活動の拡充と推進に努める。 ・ボランティア団体の育成と人材の養成・確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年ボランティアグループを組織し、環境美化(清掃活動・花いっぱい運動)など地域に根ざした活動を行った。 ・各種大会、事業、教室においてボランティア活動の推進を図った。 ・ボランティアグループにより、多様な事業を実施し内容の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心、郷土を愛する心、豊かな人間性や社会性を育んだ。 ●ボランティア活動支援センターの充実を図る必要がある。 ○ボランティア活動をとおして、責任感を養い、達成感を味わわせることができた。 ○多様な事業内容の充実が図られた。 ●人材の養成・確保・情報の提供に課題が残る。 ●合併前に集約した人材データの整理統合と新たな情報収集が必要である。
--	--	---

※ ○・・・成果が上がった。おおむねできた。
●・・・努力を要する。検討を要する。

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代に対応した生涯学習推進体制の充実・活動支援体制の強化を図っていく。 ・ボランティア活動の支援・強化に努める。 ・自主活動グループの拡充・指導者の育成に力を入れていく。 ・3地域(高田・本郷・新鶴)公民館のネットワークを推進していく。

<p>【有識者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの影響ですべての事業の実施が困難な年でしたが、概ね課題を達成できたのではないのでしょうか。 ・多くの町民が学習の場を広げるため、事業を夜間や休日に実施するなど、参加しやすい日程で年代に応じた事業の企画立案をしていこうという考えは、大変評価出来るので、是非実現して欲しいと思います。 ・「特色ある生涯学習プログラムの充実を図る」とあるように、年度毎に学習内容を変えていくこともよいのではないかと思います。高田地域の場合、特に各地区公民館で行っている内容と美里公民館で行う内容を検討し、中央では視野の広い充実した内容で学習出来ることを願っています。 ・読み聞かせは、子どもにとって本に興味を持たせるよい機会になっていると思うので、継続して欲しいと思います。 ・様々な団体と共同して行うという視点がさらに必要かと思えます。 ・ボランティア活動を活発にしていくために、人材バンクの充実にも努める必要があると思います。
--

2 心豊かで、創造性豊かな子供たちを育む学校教育の充実(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	評価(主な成果と課題)
<p>(1)就学前教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じ、「認定こども園」の導入を視野に、幼保一体教育の環境整備の充実に努めるとともに、教育機会の拡充に努める。 ・楽しい集団生活と学校生活へのスムーズな移行を目指し、保育所・幼稚園・小学校教育との連携を図る。 ・児童福祉担当課と連携し、子育て支援に関する相談・支援の充実に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「認定子ども園」の導入に向けて、子ども園経営予定者と条件整備について話し合いを進めた。 ・幼稚園と保育所において、同じカリキュラムのもとで保育を実施した。また、幼・保合同で運動会を開催した。 ・小学校と合同行事(運動会や交流会)を計画し実施した。 ・専門家による子育て相談の実施や、園の開放、保育参観等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「認定子ども園」の導入に向け、学校設置計画書を作成し県に提出した。 ○幼・小合同での行事実施により、幼・小互いの理解が深まり、幼・小の円滑な接続の一步が図られた。 ●幼・保・小との連携会議を開催するなど、さらなる連携が必要である。 ○保育所の事業と連携して実施したことにより、家庭教育の支えとなる子育て支援の充実が図られた。 ●子育て支援に関するニーズ調査を行うなどして、さらに子育て支援サービスの充実を図る必要がある。
<p>(2)学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終鈴と同時に終わる授業の実践に努め、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む。 ・心に響く道徳教育の充実に努め、品性のある児童生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分間のまとめの時間を確保し、終鈴とともに終わる「会津美里町の授業」の実践に努めた。 ・各校で立案した、学力向上の全体計画である「学力向上グランドデザイン」に基づき、わかる・できる授業の実践に努めた。 ・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、指導資料として活用を図った。 ・動・植物の世話等の体験活動を通し、特に生命を大切に作る心の育成に努めた。 ・「みさと運動(あいさつ、へんじ、はきものそろえ)」の推進に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査の結果では、本町の児童(小6)の国語の学力および生徒(中3)の国語と数学の学力は全国平均とほぼ同等である。 ●本町児童(小6)の算数については全国平均よりやや下回っており、特に「数と計算領域」での指導強化が必要である。 ○「みさと運動」の推進により、来校者や地域の人々へもあいさつする児童生徒の姿が見られるなど、自ら考えて行動する道徳的実践力が高まりつつある。 ●「学校教育等への取り組みに関するアンケート(12月中旬実施)」では、「みさと運動」を知らないという保護者の回答が散見され、町民へさらに周知する必要性を強く感じている。

・一日の生活サイクルを確立し、学び・生活の習慣化を図り、自ら学習できる力を育む。

・児童生徒の体力・運動能力の向上策を工夫するとともに、地域連携による体育活動の充実に努める。

・学校給食の安全管理に努めるとともに、地産地消の拡充を図る供給環境の整備を進め、食育の充実に努める。

・地域との連携協力によるボランティア活動・体験活動を通じて、特に命を大事にする心や他人への思いやりの心・正義感を育む。

・教職員の資質の向上を図り、保護者・地域の信頼に応える学校づくりに努める。

・全国学力・学習状況調査結果分析から、夜型傾向生活およびメディア漬け生活の改善指導に取り組んだ。
・生活ノートや家庭学習ノートの点検指導、各種たよりの発行等により、生活リズムの確立指導に努めた。

・体育科授業の充実と「運動身体プログラム」の活用、スポーツテストの結果分析による陥没点補強指導を行った。

・給食時、献立についてテレビ電話を使った栄養士の直接指導の実施や、担任と養護教諭、会津短期大学の学生とのTT(ティーム・ティチング)による食育の授業を実施した。
・地産地消の拡大に努めるとともに、給食だよりで生産者紹介を行い、生産者の顔が見え、安心して食べることのできる食材の確保に取り組んだ。(地産地消18品目実施)

・学校内外で、学年に応じたボランティア活動への取り組みを実施した。
・ヤングボランティア活動(新鶴地区)や獅子追い(高田地区)、本郷せと市(本郷地区)等、地域の活動や地域行事への積極的参加を図った。

・各校で立案した学校経営ビジョンに従い、その実践に努めた。
・校内研修に取り組み、指導力の向上に努めた。
・各種教職員研修への参加を図った。

○全国学力・学習状況調査の結果で、朝食を摂る習慣や早起きの習慣について、本町の児童生徒(小6、中3)はよく身につけている。また、十分な睡眠時間をとっている児童(小6)が多い。

●本町生徒(中3)は睡眠不足の傾向が見られ、メディアへの接触時間は児童生徒(小6、中3)ともに長時間傾向であり、家庭と連携した指導を継続していくことが今後も必要である。

○中体連の駅伝競技において、本町の2中学校からそれぞれ男女チームそろって県大会に出場するなど、地道な指導の成果が見られた。

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小5、中2対象)の結果によると、小学校では体育の授業は楽しいが体力の定着不足の傾向が見られ、中学校では体力の定着は見られるが授業は楽しいと感じない傾向がある。今後、楽しく運動し、体力のつく授業づくりに力を入れていく必要がある。

○給食センターと学校が連携し、工夫しながら食生活についての関心を高めている。

●昨年度と比べて、地場産物使用品目が8品目から18品目に増加しているが、さらに使用割合を上げる必要がある。

○各校において、児童生徒が意欲的に体験活動やボランティア活動に取り組む姿が見られ、社会性や思いやりの心が育まれている。

●ボランティア活動支援センターとの連携が必要である。

○各校とも校内研修テーマを設定して研修に取り組み、指導力の向上を図った。

<p>・教育相談の充実、個に応じた特別支援教育の推進を図る。情報化、国際化に対応した教育環境の整備を推進する。</p>	<p>・教育相談員を1名増員(教育相談員計6名)し、相談活動の充実を図った。</p> <p>・特別支援指導員2名を配置し、学習活動支援の充実努めた。</p> <p>・教育用コンピュータの使用環境の整備を図った。</p> <p>・英語指導助手3名の継続配置を行い、幼・小・中ともに活用を図った。</p>	<p>○教育相談員を増員して本郷相談室を新設し、相談活動を充実させることができた。</p> <p>○特別支援指導員による個々に応じた支援できた ●指導員の研修等が必要である。</p> <p>○小・中学校ともに、コンピュータを活用した学習活動が日常的に展開されている。</p> <p>○英語指導助手の継続配置により、幼・小・中において英語や外国の文化・習慣に親しむ機会を継続して確保できた。</p>
<p>(3) 幼・小・中の一貫教育の検討</p> <p>・幼・小・中の一貫教育の先進事例を調査する。</p> <p>・幼・小・中の一貫教育の教育内容、指導方法等を研究する。</p>	<p>・先進事例の調査はできなかった。</p> <p>・高田、本郷、新鶴の中学校区毎に、校長・園長会議や学校評議員、学校保健委員会の会議等で育ちや学びをつなぐ取り組みについて情報交換を行った。</p> <p>・新型インフルエンザの流行で計画通りとはいかなかったが、町教育研究会授業公開を実施した。 (幼稚園1園、小学校1校)</p>	<p>●連携教育の実践事例の調査研究が必要である。</p> <p>○各中学校区をまとまりとして、校長・園長会議や学校評議員、学校保健委員会の会議等で情報交換を図ることができ、幼・小・中の育ちと学びをつなぐ連携が強化された。</p> <p>○校種の違う授業を参観し情報交換を行うことができ、連携の強化に結びついた。 ●各校ともに授業参観当日の日程を工夫し、授業参観者を増やしていくことが求められる。</p>
<p>(4) 中・(高)の連携強化</p> <p>・各研究会への参加を呼びかけ、情報交換を積極的に行なう。</p>	<p>・昨年度に引き続き町学校教育連絡協議会を立ち上げ、大沼高校と連携して学力向上・生徒指導・進路指導について話し合いを持ち、地域生徒の資質向上と教員の指導力向上に努めた。</p>	<p>○新型インフルエンザ流行のため計画通りの事業実施ができず、文化活動での連携強化は図れなかったが、部活動での連携については継続して強化することができた。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・(大沼高校)との連携拡大を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ流行のため、中学校側の授業公開は実施できなかったが、大沼高校が家庭科、数学科と保健体育科の授業公開を実施した。 ・部活動で中・高校の合同練習会(高田中はバスケットボール、バレーボール、本郷中は陸上競技)を実施した。 ・新型インフルエンザ流行により町小中音楽祭を中止としたので、運動面以外で高校との連携を図る機会を得ることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も推進していくことが必要である。
<p>(5) 安全な教育環境づくり、防犯対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携のもとに、地域ぐるみの生徒指導体制の充実を図る ・通学路の安全マップの作成、定期的な見直しを実施する。 ・地域ぐるみで子どもの安全、防犯対策の強化を図る。 ・季節に応じた、自ら危険を避ける意識付けの強化を図る。 ・学校危機管理マニュアルの見直し改定を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町生徒指導推進会議を2回開催し、関係機関との連携を図った。 ・折りにふれ、安全マップの見直しを実施した。 ・各地区の危険箇所の把握と、児童へ危険箇所の周知を行った。 ・避難の家や子ども見守り隊等との連携を図り、児童の安全確保に努めた。 ・警察から提供を受けた不審者の声かけ事案等の情報を活用し、児童生徒の安全確保に努めた。 ・防災避難訓練や不審者対策訓練等を実施し、児童生徒自ら危険を避ける意識づけの強化に努めた。 ・現状をふまえたマニュアルの見直しに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区毎や全体での協議を行い、情報の共有化を図ることができ、同じ意識で児童生徒の健全育成に取り組むことができた。 ○地区の危険箇所の把握や、避難の家としての協力、見守り隊の活動等を通して、安全な環境づくりや防犯に対する地域住民の意識の高揚が図られた。 ○防犯避難訓練や不審者対策訓練の実施、不審者の声かけ事案等の情報を迅速に提供し、児童生徒自らが危険を避けようとする意識を育てることができた。 ●今後も継続して、日頃から自分の安全は自分で守るという意識を児童生徒に強化していくことが必要である。

※ ○・・・成果が上がった。おおむねできた。
●・・・努力を要する。検討を要する。

【今後の方向性】

- ・学力テストの結果も参考にしながら、学力向上を目指すとともに望ましい生活習慣の育成など、児童生徒の健全育成を目的とした「会津美里町の教育」を推進していく。
- ・スポーツテストの結果分析による陥没点の補強指導を行うとともに、楽しく運動し体力のつく授業作りに力を入れていく。
- ・「認定こども園」へのスムーズな移行が出来るように努力していく。
- ・家庭との連携をさらに進め、地域教育力の向上につなげていく。

【有識者の意見】

- ・「認定こども園」の導入に向けて準備が進んでいるのは喜ばしいことです。
- ・幼・保一体化に向け、連携を図りながら事業を進めてきたことは大いに評価できます。更に子育て支援サービスの充実に向けて努力して欲しいと思います。
- ・幼・保合同での行事、小学校と幼稚園の合同行事など、子どもにとってもいい刺激になるので今後もネットワークを広げ推し進めるべきだと思います。
- ・「みさと運動」の推進について、努力していることは評価できます。会津美里町の児童・生徒は、本当によく挨拶が出来るので感心しています。
- ・給食の地産地消が進んでいるようで素晴らしいことです。地域活性化の視点からも積極的に取り組んで欲しいです。
- ・学校統合による児童・生徒の心のケアを十分把握し、教育相談員の配置をいち早く整え活動していることは大いに評価できます。
- ・中学校と大沼高校との連携が行われているようですが、引き続き交流を深めて成果を出してもらいたいです。

3 豊かな教育環境の充実・活用(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	評価(主な成果と課題)
<p>(1) 小学校統合に係る事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合を推進する。 (赤沢小と高田小、本郷一小と本郷二小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤沢小児童の不安解消に向け、安全な通学手段の確保や相談員の配置等について検討した。 ・赤沢小と高田小とで交流学習を実施し、来年度から一緒に生活する上での不安解消を図った。 ・本郷統合小学校の建設基本計画の策定を行い、建設予定の用地を取得した。 (検討委員会3回開催。先進地視察や学校のよいところ・悪いところのアンケート調査等実施。) 	<ul style="list-style-type: none"> ○遠距離通学になる赤沢小児童には来年度からスクールバスの運行適用を行うとともに、円滑な生活適応を図るため、新たに相談員を高田小に配置し児童の教育相談に応ずる措置を講じた。 ○本郷統合小学校の建設については、計画通り順調に進んでいる。(関係予算3,377万円)
<p>(2) 老朽化した幼・小・中学校校舎、給食センター等各種施設設備の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年次計画による耐震、大規模改修の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田小北校舎と体育館の耐震補強および大規模改修工事を実施した。 ・新鶴小校舎の耐震補強および大規模改修工事を実施した。 ・新鶴中体育館の耐震補強および大規模改修工事を実施した。 ・工事期間中、児童生徒の安全確保に努めた。 ・新型インフルエンザの拡大予防策として、教室の湿度を適度に確保するために加湿器を学校等に設置した。 ・老朽化した貯湯タンク熱交換器、蒸気式回転釜等の交換工事を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年次計画に従い、高田小学校の大規模改修(予算2億6,820万円)、新鶴小の大規模改修(予算2億8,320万円)ならびに新鶴中の大規模改修(予算7,170万円)を進めることができた。 ○新型インフルエンザの感染予防対策として、各幼・(保・)小・中加湿器を設置(合計148台)し健康で安全な学習環境の維持に努めた。 ●給食センターの環境整備が必要である。

<p>(3)新しい教育に対応した施設設備の充実・活用</p> <p>・教育効果を高めるため、時代に即応した学校施設・設備の充実に努める。</p>	<p>・小・中学校に電子黒板機能を有したパソコンを各2台ずつ導入した。</p> <p>・理科の教材備品を、小学校393万円、中学校254万円の予算で整備した。</p>	<p>○全小・中学校に電子黒板機能のついたパソコンを2台ずつ導入し、活用方法についての研修も実施し、最新の教具の導入・活用を進めることができた。</p> <p>○町教育研究会の夏季研修会においてパソコン研修を実施し、ワードやエクセル、パワーポイントの活用について技能を高め、教育効果を高める土台作りができた。</p> <p>○実験や観察を重視する理科教育に対応するため、小・中学校合計647万円の予算で理科の教材備品を整備し、充実することができた。</p>
---	---	--

※ ○・・・成果が上がった。おおむねできた。
●・・・努力を要する。検討を要する。

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震、大規模改修の年次計画を着実に実行すると共に、児童生徒の安全確保に努める。 ・統合小学校の建築について、出来るだけ多くの意見を聞きながらよりよい学校建築に努める。 ・学習指導要領の変更に伴い、必要な教材備品の整備に努めていく。

<p>【有識者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤沢小と高田小が交流学習を行ったのは、子どもの心理面を考慮したすばらしいアイデアだと思います。今回の結果を踏まえ、本郷統合小学校の時も成果が得られるよう努めて欲しいです。 ・統廃合が進む中で、デメリットを最小限におさえる施策がとられているようです。 ・耐震改修工事はほぼ予定通りで評価できます。 ・新型インフルエンザの流行に伴い、予防対策として町内全校に加湿器を導入する等、早急の対策をとられたことは大いに評価できます。 ・毎年新しい教育機器が導入され、児童生徒にとっては素晴らしい環境だと思います。それに伴い先生方の研修を十二分に行い、有効活用されるよう望みます。

4 だれもが手軽にスポーツライフを楽しめる環境づくりの推進(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	【評価】(主な成果と課題)
<p>(1)スポーツ活動の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの日常化を目指し、町民の各種事業への参加機会の拡充を図る。 ・各種スポーツ、レクリエーション施設の整備、管理体制の充実を図り、利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員会の審議内容を生かしたスポーツ事業や各公民館事業によるスポーツ活動などで、だれでも、いつでも参加できる事業を実施した。 ■委員数27名。定例会開催12回。 ・町民の多様化するスポーツニーズに対応するため、施設の利用調整を行うとともに、施設利用者の安全な利用が図られるための保守点検や施設修繕などの管理業務を行なった。 	<p>○日常的にスポーツに親しんでいる町民ばかりでなく、地区対抗形式による大会等の開催により、多くの町民がスポーツ事業へ参加する機会を提供することができた。</p> <p>本郷公民館・・・11回開催 新鶴公民館・・・2回開催 高田地域各地区公民館・・・23回開催</p> <p>○効果的な利用促進を図るため、各種団体の年間利用調整を行い、町民がいつでも・だれでもスポーツ活動ができる環境を提供することができた。</p> <p>【施設の利用者数】 高田体育館・・・27,282人　本郷体育館・・・19,941人 新鶴体育館・・・11,763人 美里町公民館体育場・・・12,259人 二本柳運動場・・・18,021人　本郷運動場・・・10,461人 吹上運動場・・・3,652人　河畔公園庭球場・・・1,834人 宮川庭球場・・・1,492人 本郷テニスコート・・・2,525人 ふれあいの森テニスコート・・・3,038人 ふれあいの森陸上競技場・・・5,813人 小山スキー場・・・1,773人</p>
<p>(2)スポーツ団体の育成と指導者の養成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会ははじめ各種スポーツ団体等の育成と関係団体との連携強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動補助金を交付し、競技普及や体力づくり、健康増進を図り、生涯スポーツの振興を図った。 ■体育協会補助金1,230千円(18団体) ■スポーツ少年団補助金690千円(13団体) ■各種大会出場補助金 	<p>○各種競技種目の大会・スポーツ教室等が開催され、競技普及が図られた。</p> <p>●一部の団体に、会員の固定化が見られ、新たな会員増加が図られることが必要である。</p>

<p>・各種スポーツ指導者の養成と有効活用を図る。</p>	<p>・体育指導員及び体育協会の構成員やスポーツ少年団の指導者が講習会等を受講して、その技を町民に広く普及させる。</p>	<p>●一部の競技においては、養成が図られたが、全般的には養成・活用が不十分であった。</p>
<p>・自主的な地域総合型スポーツクラブの育成推進を図る。</p>	<p>・公民館事業との共催等相互協力体制を推進することにより、会員の自主運営による総合型地域スポーツクラブの運営支援を推進した。</p>	<p>○クラブ会員の増加が見られ、活動内容も充実しており、会員の満足度が増した。 会員数235人 ●自主的な運営に向けた意識改革を進める必要がある。</p>

※ ○…成果が上がった。おおむねできた。
●…努力を要する。検討を要する。

【今後の方向性】

- ・スポーツの日常化をめざして、ニュースポーツの普及と各種講習会等の充実に努める。
- ・年次計画による耐震補強と定期的な保守点検等を実施し、町民が安心して利用できる施設設備の充実に努める。
- ・総合型スポーツクラブを全町的に普及・拡大させる。

【有識者の意見】

- ・スポーツ事業の開催に当たっては、日常的にスポーツに親しんでいる町民ばかりではないので、地区対抗形式による大会等の開催により多くの町民がスポーツ事業に参加する機会を与えたことは評価できます。
- ・各地域のスポーツ施設はほぼ例年通り活用されたと思います。
- ・総合型地域スポーツクラブを拡大しているようですが、各施設の利用状況もよく、さらなる発展を望みます。

5 家庭・学校・地域社会が一体となった、豊かな心と体をもつ青少年の育成の推進(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	【評価】(主な成果と課題)
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、地域、関係機関の連携協力による青少年健全育成の推進を図る。 ・町民挙げての「みさと運動」の推進を図る。 ・スポーツ・学芸優秀者の表彰を行なう。 ・児童褒賞顕彰(仮称)の導入について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成町民会議の活動を通して、県民総ぐるみ運動として花いっぱい運動、環境浄化作業を行った。「家庭の日」の啓発を行った。 ・青少年健全育成町民会議の活動を通して、ちらしの配布を行い、「みさと」運動の推進を図った。 ・会津美里町表彰条例(顕彰表彰)に基づく、スポーツ・学芸優秀者の表彰を行った。 ・十分な検討をしなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年健全育成町民会議の活動を通して、青少年の健全育成を図る諸活動の必要性を、改めて町民に訴えることができた。 ●「みさと運動」は小学生には浸透しているが、住民へのアンケートではその運動を知らないという記述も散見された。 ○表彰を通して、スポーツ・学芸への取り組み意欲を高めることができた。

※ ○…成果が上がった。おおむねできた。
●…努力を要する。検討を要する。

【今後の方向性】

・町民挙げての「みさと運動」の推進に向けて、住民への周知を一層図っていく。

【有識者の意見】

・家庭と地域の教育は、気長な取り組みが必要です。少しずつ、定着していけば良いと思います。
・青少年健全育成町民会議の活動については、各地域ごとにもっと町民へ働きかけ、話し合いし、実効性のあるものになればと思います。
・「みさと運動」はまだ町民に浸透しておらず、さらなる啓発活動が必要です。

6 地域の伝統文化の継承と活力に満ちた文化活動の振興(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	【評価】(主な成果と課題)
<p>(1)芸術・文化活動の振興支援</p> <p>・芸術・文化に関する情報の収集と提供に努め、町民が芸術文化に接する機会の拡大を図る。</p> <p>・芸術・文化団体の育成や指導者の育成に努める。</p>	<p>・美里町合併と同時に開催した会津美里町総合美術展が第4回を数え、その内容の充実に努め、町内外より約1,500名の参観者があった。教育委員会のスクールバス運行により、町立小中学校児童・生徒がじかに芸術鑑賞する機会を提供できた。</p> <p>・ジュニア文芸の作品募集と優秀作品の表彰式開催は、町高田ペンクラブとの共催事業として実施しているが、今年度も2,188名の作品出品があり、2月にジュニア文芸表彰式を実施し、150名が表彰された。</p> <p>・町民の芸術文化活動の成果発表の場である町民文化祭は、高田・本郷・新鶴の3地域で開催しており、今年度も多数の出品作品・成果発表、そして芸能発表等を開催した。</p> <p>・町内の各種文化団体は、会津美里町文化団体協議会を構成し、互いに連携・調整しながら、それぞれに文化活動を実施しその文化活動の充実に努めた。</p>	<p>○非常に多くの参観者があり好評であったが、今後は多くの町民の参加と、青少年層を対象とした事業の企画が望まれる。</p> <p>・前年度より100余名多い約1,600名参加</p> <p>○ジュニア文芸の作品募集と表彰は、作文・詩・短歌・俳句の4部門であるが、近隣町村にはみられない事業で、青少年の感性を育てることに貢献するものである。今後一層の推進が図られることが期待される。</p> <p>●町民の多くが参加する町民文化祭は、年に一度の成果発表の場であるので、今後その推進を図る必要がある。</p> <p>○福島県文化振興基金の顕彰は文化の普及に貢献した団体と個人が対象となるものであるが、会津美里町から文化財保護部門で伊佐須美神社太々神楽保存会が2月22日表彰された。</p> <p>○福島県文化財伝承活動顕彰式が11月2日開催され、尾岐甚句愛好会が顕彰団体として表彰された。文化発祥のまちである会津美里町として、今後他の団体もその後続くよう活動の支援をしていきたい。</p> <p>●町民の多くが加入している文化協会活動は、町民の自主的な文化活動の基盤であるので、今後その推進を図る必要がある。</p>

<p>(2)歴史・文化資源の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史と文化を伝える資源の適正な管理による保全を図る。 ・地域づくりや地域活性化に有効な歴史・文化資源について、積極的な活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵施設内の台帳整備に努めた。 ・指定文化財である「御田植祭」・「太々神楽」の用具復元事業実施のため保存団体等への支援を行った。 ・文化財防火デーに合わせて、町内4カ所で防火訓練を行った。 ・町内遺跡の試掘調査を2箇所実施した。 ・歴史と文化の里づくり事業として、「歴史講座 仏像の見方」、「菊地養之助展」を実施した。 ・指定文化財の説明板を設置した。 ・国史跡向羽黒山城跡について、現地説明会・文化祭などでPRを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収蔵施設内の台帳整備が進み、適正な管理に近づいた。今後も継続していく。 ●施設の老朽化、収蔵スペースの不足などが課題となっている。 ●伝統芸能実施団体の高齢化・後継者不足、児童・生徒を伴う民俗行事の担い手不足などが課題となっている。 ●向羽黒山城跡整備の策定が次年度にずれ込んでしまった。計画書の早期策定と基本計画に基づく詳細な実施計画を策定する必要がある。 ○歴史講座では町内の多くの文化財を見学し、文化財の公開・普及が図られた。 ○町内小学校児童を中心に民俗資料館の利用が多く行われた。 ●今後、文化財を積極的に利活用する取り組みを拡大していくとともに、地域との連携が必要である。
---	--	---

※ ○・・・成果が上がった。おおむねできた。
●・・・努力を要する。検討を要する。

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の芸術文化への志向がますます高まっていく中、それぞれの役割を明確にしなが、行政としての活動支援体制を検討する必要がある。 ・事業への幅広い住民参加を図るために、広報等を活用していく必要がある。

<p>【有識者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地区の伝統文化の継承と、会津美里町全体の文化の振興が今後の課題だと思います。 ・町民文化祭に年々参加者が増えていることは大変喜ばしいことです。今後、個から集団へと移行するよう働きかけ、多くの町民が芸術文化に接する機会を拡充していくことが大切だと考えます。 ・伝統芸能文化の継承は大切なことなので、補助金を含め、活動支援体制をしっかりと整える必要があります。 ・文化財伝承活動で2団体が表彰されたことは、町にとって大いに喜ばしいことです。
--

7 効率的・積極的な教育行財政の推進(取組み状況等)

施策の内容	H21年度取組み内容	評価(主な成果と課題)
<p>(1)責任体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの課・係及び各公民館並びに職員一人一人の職務と責任を明確にし、教育委員会業務の公正で効率的な執行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務分担に基づき、職員一人一人の職務と責任について再確認し業務にあたった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事務分担に基づき、公正で効率的な執行ができた。
<p>(2)教育事務の管理及び執行状況の点検・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会が所掌する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行うためのシステムを構築するために、「町教育振興計画」の策定を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員による点検・評価及び有識者会議の意見を聴取することにより課題や今後の取り組みの方向性を明らかにすることができた。
<p>(3)相互連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課・係の繁忙の度合いにより相互協力が図れる体制の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事はチームプレイを基本とし、各課・係の繁忙の度合いにより相互協力が図れる体制の確立を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●極力相互の協力体制を取ることに心がけたが、時期によって個人に集中する場合が見受けられた。
<p>(4)教育予算の確保及び適正な執行</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育投資の重要性を踏まえ財源難の中にあっても必要な教育予算の確保に努める。 無駄を極力抑え、最少の予算で最大の効果を上げる予算執行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 当初予算、補正予算を通して必要な教育予算の確保に努めた。 各学校等の校長・事務担当者の会議を行うなど、各施設も含め、最少の予算で最大の効果を上げる予算執行に努力した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当初予算、補正予算を通して必要な教育予算の確保に努めた。 ●伝票紛失のため21年度の支出ができなくなり、翌年度で支払うこととなった。
<p>(5)職員のサービスと資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の職員が公僕として責任を自覚し、町民の利益のため全力を尽くすとともに、職務上の資質向上に努めるよう、適正な指導を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は全体の奉仕者としての自覚を持って職務の遂行に当たった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の職員が公僕として責任を自覚し、資質向上に努めた。

<p>(6) 専門職員の確保及び専門性の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の体制の充実を図るために、学校教育指導主事を設置する。 ・多様化する児童・生徒の家庭生活の相談などに、専門的な見地から対応する、スクールソーシャルワーカーの確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤であるが学校教育専門指導員を配置し、委員会の体制の充実を図った。 ・教育相談員を1名増員し、相談活動の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、学校教育指導主事の配置に向けて努力を要する。 ●今後も、スクールソーシャルワーカーの確保に向けて努力を要する。
--	---	---

※ ○…成果が上がった。おおむねできた。
●…努力を要する。検討を要する。

<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の奉仕者としての自覚を再確認し、職務を遂行していく。 ・的確な事務を遂行する体制を整えていく。 ・指導主事・スクールソーシャルワーカーの設置に向け努力していく。
--

<p>【有識者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政難と人員削減の折、ほぼ課題を達成しているのではないのでしょうか。 ・職員の資質向上については、各自がしっかりと公僕としての自覚を持ち、だれからも愛される職員であって欲しいと思います。 ・スクールソーシャルワーカーの設置について、努力していく必要があると思われまます。

町教育委員会重点施策

会津美里町第一次振興計画の「人が輝き、夢が広がる、環境共生のまち」を創造するために、「学びと楽しさの文化のまち」づくりを推進し、未来を拓く心豊かな・確かな学力を備えた人づくりを基本理念とし、次のように教育行政を推進する。

1. 生涯を通じて、主体的に学ぶことができる魅力ある生涯学習環境の確立
2. 心豊かで、創造性豊かな子供たちを育む学校教育の充実
3. 豊かな教育環境の充実・活用
4. だれもが手軽にスポーツライフを楽しめる環境づくりの推進
5. 家庭・学校・地域社会が一体となった、豊かな心と体をもつ青少年の育成の推進
6. 地域の伝統文化の継承と活力に満ちた文化活動の振興
7. 効率的・積極的な教育行財政の推進

○ 実践事項

1. 生涯を通じて、主体的に学ぶことができる魅力ある生涯学習環境の確立
 - (1) 生涯学習推進体制の整備・充実
 - (2) 生涯学習の普及・啓発の推進
 - (3) 学習情報の充実
 - (4) ボランティア活動の推進
2. 心豊かで、創造性豊かな子供たちを育む学校教育の充実
 - (1) 就学前教育の充実
 - (2) 学校教育の充実
 - (3) 幼・小・中の一貫教育の検討
 - (4) 中・(高)の連携強化
 - (5) 安全な教育環境づくり、防犯対策の強化
3. 豊かな教育環境の充実・活用
 - (1) 小学校統合に係る事業の推進
 - (2) 老朽化した幼・小・中学校校舎、給食センター等各種施設設備の整備
 - (3) 新しい教育に対応した施設設備の充実・活用
4. だれもが手軽にスポーツライフを楽しめる環境づくりの推進
 - (1) スポーツ活動の振興
 - (2) スポーツ団体の育成と指導者の養成・確保
5. 家庭・学校・地域社会が一体となった、豊かな心と体をもつ青少年の育成の推進
6. 地域の伝統文化の継承と活力に満ちた文化活動の振興
 - (1) 芸術・文化活動の振興支援
 - (2) 歴史・文化資源の保全と活用

7. 効率的・積極的な教育行財政の推進

- (1) 責任体制の確立
- (2) 教育事務の管理及び執行状況の点検・評価
- (3) 相互連携の強化
- (4) 教育予算の確保及び適正な執行
- (5) 職員のサービスと資質向上
- (6) 専門職員の確保及び専門性の発揮

○ 具体的な施策

1. 生涯を通じて、主体的に学ぶことができる魅力ある生涯学習環境の確立

- (1) 生涯学習推進体制の整備・充実
 - ① 町民の多様な要求に応え得る生涯学習の立場を確立し、合わせて指導者の養成・確保に努める。
 - ② 関係機関・団体との連携を図りながら自立的な活動の支援に努める。
- (2) 生涯学習の普及・啓発の推進
 - ① 特色ある生涯学習プログラムの充実を図る。
 - ② 住民参画による活動の拡充に努めると共に、学習成果を地域に生かす場の設定に努める。
 - ③ 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実を努める。
 - ④ 公民館図書室の蔵書の充実と利用促進を図り、読書機会の拡充に努める。
- (3) 学習情報の充実
 - ① 時代に対応した学習情報提供システムの確立を図る。
 - ② 学習者が求める情報資料の収集とその提供に努める。
- (4) ボランティア活動の推進
 - ① 体験活動・ボランティア活動支援センターの活性化を図る。
 - ② ボランティア活動の拡充と推進に努める。
 - ③ ボランティア団体の育成と人材の養成・確保に努める。

2. 心豊かで、創造性豊かな子供たちを育む学校教育の充実

- (1) 就学前教育の充実
 - ① 地域の実情に応じ、「認定こども園」の導入を視野に、幼保一体教育の環境整備の充実を努めるとともに、教育機会の拡充に努める。
 - ② 楽しい集団生活と学校生活へのスムーズな移行を目指し、保育所・幼稚園・小学校教育との連携を図る。
 - ③ 児童福祉担当課と連携し、子育て支援に関する相談・支援の充実に努める。

(2) 学校教育の充実

- ① 終鈴と同時に終わる授業の実践に努め、基礎・基本の定着を図り、「生きる力」を育む。
- ② 心に響く道徳教育の充実に努め、品性のある児童生徒を育てる。
- ③ 一日の生活サイクルを確立し、学び・生活の習慣化を図り、自ら学習できる力を育む。
- ④ 児童生徒の体力・運動能力の向上策を工夫するとともに、地域連携による体育活動の充実を努める。
- ⑤ 学校給食の安全管理に努めるとともに、地産地消の拡充を図る供給環境の整備を進め、食育の充実を図る。
- ⑥ 地域との連携協力によるボランティア活動・体験活動を通じて、特に命を大事にする心や他人への思いやりの心・正義感を育む。
- ⑦ 教職員の資質の向上を図り、保護者・地域の信頼に応える学校づくりに努める。
- ⑧ 教育相談の充実、個に応じた特別支援教育の推進を図る。情報化、国際化に対応した教育環境の整備を推進する。

(3) 幼・小・中の一貫教育の検討

- ① 幼・小・中の一貫教育の先進事例を調査する。
- ② 幼・小・中の一貫教育の教育内容、指導方法等を研究する。

(4) 中・(高)の連携強化

- ① 各研究会への参加を呼びかけ、情報交換を積極的に行なう。
- ② 中学校・(大沼高校)との連携拡大を推進する。

(5) 安全な教育環境づくり、防犯対策の強化

- ① 関係機関との連携のもとに、地域ぐるみの生徒指導体制の充実を図る。
- ② 通学路の安全マップの作成、定期的な見直しを実施する。
- ③ 地域ぐるみで子どもの安全、防犯対策の強化を図る。
- ④ 季節に応じた、自ら危険を避ける意識付けの強化を図る。
- ⑤ 学校危機管理マニュアルの見直し改定を進める。

3. 豊かな教育環境の充実・活用

(1) 小学校統合に係る事業の推進

小学校統合を推進する。

(赤沢小と高田小、本郷一小と本郷二小)

(2) 老朽化した幼・小・中学校校舎、給食センター等各種施設設備の整備

年次計画による耐震、大規模改修の推進を図る。

(3) 新しい教育に対応した施設設備の充実・活用

教育効果を高めるため、時代に即応した学校施設・設備の充実に努める。

4. だれもが手軽にスポーツライフを楽しめる環境づくりの推進

(1) スポーツ活動の振興

- ① スポーツの日常化を目指し、町民の各種事業への参加機会の拡充を図る。
- ② 各種スポーツ、レクリエーション施設の整備、管理体制の充実を図り、利用を促進する。

(2) スポーツ団体の育成と指導者の養成・確保

- ① 体育協会はじめ各種スポーツ団体等の育成と関係団体との連携強化に努める。
- ② 各種スポーツ指導者の養成と有効活用を図る。
- ③ 自主的な地域総合型スポーツクラブの育成推進を図る。

5. 家庭・学校・地域社会が一体となった、豊かな心と体をもつ青少年の育成の推進

- ① 家庭、学校、地域、関係機関の連携協力による青少年健全育成の推進を図る。
- ② 町民挙げての「みさと運動」の推進を図る。
- ③ スポーツ・学芸優秀者の表彰を行なう。
- ④ 児童褒讃顕彰（仮称）の導入について検討する。

6. 地域の伝統文化の継承と活力に満ちた文化活動の振興

(1) 芸術・文化活動団体の振興支援

- ① 芸術・文化に関する情報の収集と提供に努め、町民が芸術文化に接する機会の拡大を図る。
- ② 芸術・文化団体の育成や指導者の育成に努める。

(2) 歴史と文化資源の保全と活用

- ① 地域の歴史と文化を伝える資源の適正な管理による保全を図る。
- ② 地域づくりや地域活性化に有効な歴史・文化資源について、積極的な活用を検討する。

7. 効率的・積極的な教育行財政の推進

(1) 責任体制の確立

それぞれの課・係及び各公民館並びに職員一人一人の職務と責任を明確にし、教育委員会業務の公正で効率的な執行に努める。

(2) 教育事務の管理及び執行状況の点検・評価

教育委員会が所掌する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行うためのシステムを構築するために、「町教育振興計画」の策定を進める。

(3) 相互連携の強化

各課・係の繁忙の度合いにより相互協力が図れる体制の確立を図る。

(4) 教育予算の確保及び適正な執行

- ① 教育投資の重要性を踏まえ財源難の中にあっても必要な教育予算の確保に努める。
- ② 無駄を極力抑え、最少の予算で最大の効果を上げる予算執行に努める。

(5) 職員の服務と資質向上

ひとりひとりの職員が公僕として責任を自覚し、町民の利益のため全力を尽くすとともに、職務上の資質向上に努めるよう、適正な指導を行なう。

(6) 専門職員の確保及び専門性の発揮

- ① 教育委員会の体制の充実を図るために、学校教育指導主事を設置する。
- ② 多様化する児童・生徒の家庭生活の相談などに、専門的な見地から対応する、スクールソーシャルワーカーの確保に努める。